

悩まない フライマンたちへ

ROUND 31

文 中馬達雄
ちゅうまん ちゅうまんとくゆう
(鹿児島県鹿児島市/ちゅうまんの夢や)

フライフィッシングはめり込む前の敷居が高い 最初のハードル、それがキャストイング

フライキャストイングが上手いということ、釣りが巧いということは一致しません。ただ、キャストイングが上手くないと、釣りの幅が非常に狭くなります。

昔も今も敷居は高い

私がフライフィッシングを始めたころは、フライキャストイングについても無知でした。

ですから、見たり聞いたりするエキスパートたちのフライ・キャストイングはマジックに思えたし、彼らの使うタネ(ロッド)や、仕掛け(ライン)も欲しくなりました。「このリールをロッドにつければ飛ぶ」と言われれば本気でそう思ったでしょう。

バブル期が来てフライ人口も増えましたが、フライフィッシングの敷居が低くなったのでしょうか? いえ、昔も今も敷居は高いのです。どんな釣りでも、のめり込めば奥

が深い。フライフィッシングはのめり込む前の敷居が高い。それは昔から変わらないのです。その最初のハードルがキャストイングです。

大人の責任は重大だ

ルアー釣りは、垂らしをとった簡単な投げ方を導入することで、釣りの底辺を広げることが成功しました。フライはそれができません。

バブルがはじけて、フライ人口の減少に危機感を抱いた業界は、(やさしい)フライフィッシングで底辺を広げようと画策しました。

初心者向けと銘打ったフライタックルや、誰でも簡単にフライフィッシングできますよという釣りタックルを見ると、胸くそわるくなります。

外国から輸入したタネや仕掛けを売りまくった後に、安上がりで

安直なフライフィッシングをあおつて、底辺が広がったと思っているのでしょうか? 難しいけど面白いのがフライフィッシングでしょうか?

キャストイングという最初のハードルを無視してきた結果、若者のフライ人口が増えましたが、ハードルを越えようとならない若者に、釣りガールが釣れますか?

今回の特集は「大人の管理釣り場」ということですが、雰囲気だけでなく、そこで遊ぶ大人がしっかりとした手本を見せると、若者は魅せられるはず。難しいけど面白い、難しくするのはど面白い。――

若者に背中を見せる大人の責任は重大です。フライフィッシングの業界は、そういう育て方に情熱を注ぐべきです。

教わるたびに下手になる

り上手くはなりません。現代ならYouTubeの映像で学んだ気になるところでしょう。

教え方を学べば自分も学ぶ

悪戦苦闘して6年目に、幸運が訪れました。師匠の英国人、オムリ・トーマス氏に出会ったのです。実際はコネを使っただけの押しかけ弟子でした。いきさつは過去にも書いたので省きます。

オムリ・トーマス氏に教えを乞うたことで、私のキャストイングが劇的に変わったと言いたところですが、レッスンはたった4日間でした。その間に褒められても自信はつきません。

3日間で、基本のループからシングルホルルの初めまで教えてもらいました。明日が最後のレッスンの日に、焦りから「もっと上達するにはどうすればいいですか?」と聞くと、「たくさんの人を教えなさい。そこから学べる。」と言われました。そして最後の4日目は、フライキャストイングの教え方をレクチャーされました。

自己流を抜けるのは大変だ

鹿児島にもどり、生徒さん第1号と練習を始めました。彼は3年で私より上手くなって、どちらが生徒か分からなくなりました。

私は長年の自己流キャストイングのツケが邪魔をして、なかなか思ったようにはできません。いまだにそのツケは身体の奥に溜まり、ときどき噴き出して悩ませます。

私は自然とキャストイング・プロではなく、レッスン・プロになってゆきました。生徒さんは全て自己流なしの初心者だったので、こちらの思うように、色を染めていくことができました。それは私にとって第二の幸運でした。

オムリ氏に習った通り、最初は、9〜16ヤードの基本ループから半身の軽いシングルホルルで20ヤードのラインを出します。その後は解説書に書いてあるように、長いシングルホルルで25ヤードを出します。強いシングルホルルでバックラインが左手を引き上げるようになれば、ダブルホルルの完成です。

ここまで、自己流なしの初心者は数カ月から1年でできるようになり

ましたが、自己流に慣れている私は苦勞しました。私はできの悪い生徒の一人でした。

出始めの頃のビデオカメラも導入しました。その場で見たいので、私が生徒さんのキャストイングの、悪い癖をコピーして見せました。おかげで、いろんな人の癖のあるキャストが真似できるようになりました。

生徒と釣り場に教えられた

ある年、東京晴海の釣り具見本市の会場で、ある方に二つのキャストイング法を教えてもらいました。私に教えてくれた方が、若き日の風霧人氏であると知ったのはつい最近です。

私は自分が生徒さんに教えられるようになるまで、そのキャストを練習しました。いま地元のアオアジの釣り場で、背後の3メートルの壁を越してキャストするのに最適です。

そんなわけで、初めから日本のフライ業界の主流から外れていた私は、今に至るまでほとんど現在のフライ業界の、どなたとも交流はありませんでした。

鳥流しの30年の年月が、オムリ氏にならったキャストイングを変化さ



毎週日曜日に開催しているフライキャストイング練習会。毎週誰かしらやってきて練習する。ベテランと初心者が連れ立って釣りに行く、鹿児島の伝統



アオアジ・ポイント。3メートルの壁をバックキャストでクリアして前方へ25ヤード、ライズから5秒以内に投げるのが基本



F氏が釣ったヒラスズキ 73cm。釣れたカマスに喰ってきた。へたったカマス用の#6ロッドでじっくり10分のやりとりの末に

初心者向けと銘打ったフライタックルや、フライフィッシングはこんなに簡単ですよ、とつたう釣りスクールを見ると、胸くそわるくなります。

胸くそわるくなります。